

まちのわだい MY TOWN TOPICS

情報広報課(霞ヶ浦庁舎)

秋の叙勲 瑞宝双光章 村岡 宏造さん

昭和37年に水戸地方検察庁に採用され、水戸地方検察庁、 宇都宮地方検察庁などを回り、平成16年に水戸地方検察庁 首席捜査官を退職されるまでの42年間、さらに裁判所調停 委員として 10 年間、法の適正適用の実現のため公務に尽力 された功績が認められ受章されました。「永年にわたり誇りを もって携わることができたのも、多くの皆さんの支えがあった おかげです。特に上司や同僚、家族には変わらず支え続けて くれたことに感謝します」と受章の喜びを話してくれました。





観光帆引き船ライトアップ操業

11月29日、歩崎沖合で「観光帆引き船ライトアップ 操業 | が行われました。午後4時のたそがれ時に出航し た帆引き船は、夕焼けを背景に帆をなびかせていました。 日が沈んで来ると、帆引き船はほのかな明かりにライト アップされ、湖上に浮かぶその姿は、とても幻想的な光 景を作り上げていました。随伴船に乗船した参加者は、 その優雅な帆引き船の姿をカメラに収めようと、ベスト アングルを追い求め、シャッターを切っていました。



ギャラリーカフェ「アートの森」オープン

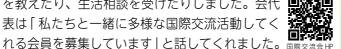
12月10日、深谷にランチ&カフェや貸しアートギャ ラリー&スペース、雑貨の販売などの多目的施設「アート の森 | がオープンしました。市のまちづくりファンドを 活用し、空き店舗を改修して、地域のたまり場を作ろう と、美術や芸術を愛好する市民団体「アート・エコクラブ」 が企画。店主は「のんびりお茶したい方やアートを楽し みたい方、自分の作品を展示したい方、教室を開きたい 方など、お気軽にご来店ください」と話してくれました。





外国人市民のための日本語教室を開講

12月14日、働く女性の家で6回日の「日本語教室」が開 講。日本語を学びたい外国人市民に対し、かすみがうら国際 交流会が、まちづくりファンドを活用して 11 月から毎月第 2・4 月曜日、木曜日に開講中。やさしい日本語を学んだボ ランティアの方がさまざまな国出身の生徒に身近な日本語 を教えたり、生活相談を受けたりしました。会代 表は「私たちと一緒に多様な国際交流活動してく



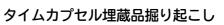
お誕生会にかすみがうにゃが登場

12月16日、やまゆり館で[12月のお誕生会]が行 われました。クリスマス一色に飾り付けられた会場で、 12月生まれの子どもたちをお祝いしていると、サプラ イズで「うにゃ」が登場し、子どもたちを驚かせていまし た。12月生まれの「うにゃ」もお誕生会に参加し、特製 の冠や歌のプレゼントをもらっていました。 「うにゃ」は お祝いしてくれた子どもたちに、シールとお面のプレゼ ントを贈り、お誕生会は笑顔であふれていました。



デート DV 出前講座を開講

12月22日、千代田中学校で「人と人とのよりよい関 係をつくるために | をテーマに、「デートDVって何? | と題した出前講座が行われました。この講座は男女共同 参画事業の1つとして行われた講座で、1・2年生が 参加しました。「よりよい関係を作っていくにはどうし たらよいか」の質問に、生徒からは「相手の気持ちを考 えて行動することが大切 | や 「お互い、自分の気持ちを 言葉にすることが大事 | などの意見が出ました。



12月23日、あじさい館で「霞ケ浦町2020タイム カプセル実行委員会」による、市のまちづくりファンド を活用した 「タイムカプセルの掘り起こし」が行われま した。2000年当時の小中学生や住民がカプセルを掘り 起こし、20年後の自分に宛てた作文や当時の写真など を見つけると、当時の思い出などを懐かしむ参加者の姿 がありました。今後は、中身を整理し、来春に同館で展 示後、本人に返送される予定です。



ミニ門松づくりで新年の準備

12月26日、雪入ふれあい里公園で親子参加型の「ミ 二門松づくり | が行われ、5 組が参加しました。毎年、「ク ラフト市」が開催されていましたが、新型コロナウイル スの影響により「ミニ門松づくり」のみ開催。松・竹・梅 など自然の材料を使い、親子共同で華やかに作り上げて いました。参加者は「2020年は新型コロナウイルスの 影響により、大変な1年でした。来年は良い年なるよう に神様をお迎えしたいです | と話してくれました。

19 18